

「バンダイ×現役慶應義塾大学生」による究極のボードゲーム
 パネル×アイテムカード×頭脳で陣を取れ！
 ジントル
「頭脳陣取りゲーム JINTOL」 2013年7月20日(土)発売

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、社長:上野和典)は、2007年に発売し全世界で累計335万個を販売するヒットを記録した玩具「∞プチプチ」の開発担当者・高橋晋平と、現役の慶應義塾大学生が、共同で開発した対戦型ボードゲーム「**頭脳陣取りゲーム JINTOL**」(全2種、各1,680円・税込、プレイ人数:2人)を**7月20日(土)に発売**します。

本商品のプレイ人数は2人で、プレイヤーは2つの色で色分けしたパネルを、盤上のマスに交互に置いていき、多くのマスを自分の色で埋めたプレイヤーが勝ちとなります。プレイ中は、手持ちの「アイテムカード」を使って、相手の動きを封じたり、自分のチャンスを増やしたりするなど、一発逆転を狙うことができます。

簡単なルールで、誰でもすぐに対戦できる一方、さまざまに色分けしたパネル(※)をどう配置するかや、「アイテムカード」をどう戦略的に使うかなど、頭脳戦が求められる奥深いゲームになっています。(※3頁参照)

種類は、パネルが黒と白の「ClassicColor」と、赤と青の「VividColor」の全2種で、全国の玩具店、百貨店・量販店の玩具売場、雑貨店、通販サイト等で販売します。メインターゲットは、20代男性です。

なお、本商品は、6月13日(木)～16日(日)に東京ビッグサイトで開催される「東京おもちゃショー2013」のバンダイブース内にてお披露目する予定です。



「頭脳陣取りゲーム JINTOL」(全2種、各1,680円・税込)

(写真左:「ClassicColor」のデザイン、右:アイテムカード全8種)

バンダイの遊びのノウハウ×慶應義塾大学生の頭脳がコラボレーション！

本商品は、現役の慶應義塾大学生である杉本氏・中里氏が、パネルと盤を用いたゲームの原案とベースとなる対戦ルールを考案しました。バンダイの開発担当者・高橋晋平は、杉本氏・中里氏の案に、アイテムカードを用いた戦略要素の追加や、1回対戦としていたルールを2勝先取に変更することなど、ゲームに奥深さを与えるための提案を行い、両者で検証の上、商品化しました。バンダイが持つ遊びのノウハウと、慶應義塾大学生の頭脳が融合した完成度の高いボードゲームとなっています。



高橋晋平が
開発した
「∞プチプチ」

【考案した慶應義塾大学生からのコメント】

杉本 和希氏(21歳)

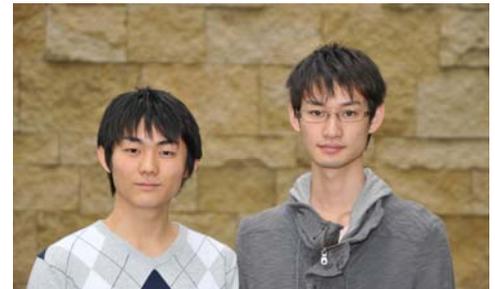
(慶應義塾大学 法学部4年／原案・プロデュース担当)

「開発から発売にいたるまでの1年間、多くの方に支えられながら、このゲームはよりおもしろいものへと成長していきました。今、自信をもって世の中に送り出せる玩具になったと感じています。ぜひ皆様に遊んでいただき、100年後も愛されるゲームになって欲しいと強く願っています！」

中里 龍氏(21歳)

(慶應義塾大学 理工学部3年／理論解析担当)

「試行錯誤を重ね、ようやく完成したこの『頭脳陣取りゲーム JINTOL』は、初心者でも遊べるシンプルさと、上級者でも悩む戦略性を兼ね備えています。皆さんに遊んでいただき、このゲームの面白さを知っていただけたら嬉しく思います。」



杉本 和希氏

中里 龍氏

【商品概要】

- 商品名 : 「頭脳陣取りゲーム JINTOL」
(全2種: 「ClassicColor」, 「VividColor」)
- 価格 : 各 1,680 円(税込)
- 発売日 : 2013 年 7 月 20 日(土)
- プレイ人数 : 2 人
- ボードサイズ : H10mm × W125mm × D125mm
- セット内容 : ゲームボード 1 台、パネル 8 枚 × 2 人分、アイテムカード 8 枚 × 2 人分、取扱説明書



「VividColor」の盤とパネル

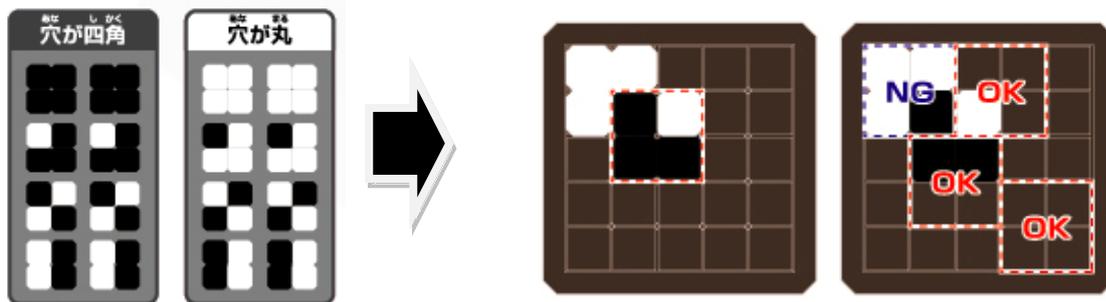
「頭脳陣取りゲーム JINTOL」公式ホームページ: <http://www.asovision.com/jintol/>
バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>

（参考資料）「頭脳陣取りゲーム JINTOL」の遊び方

このゲームは、2人のプレイヤーで遊びます。ボードは25マス構成で、プレイヤーは2色にわかれたパネル8枚と、事前に選んだ3枚のアイテムカードを使って、ボードのマスに交互にパネルを置いていきます。最終的に自分の色で多くマスを埋めた人が勝ちとなり、先に2勝したプレイヤーが勝者となります。

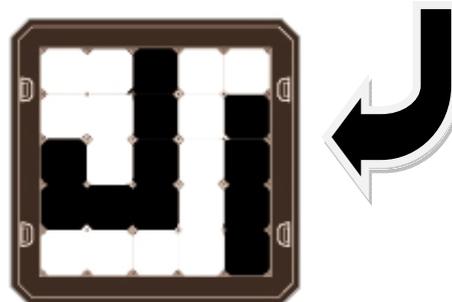
【基本ルール】ボードゲーム×アイテムカードで頭脳を競え！

- ① 2人でパネルを8枚ずつ持ち、じゃんけんで勝った方が先攻となります。（下図の左が黒プレイヤーのパネル、右が白プレイヤーのパネル）
- ② 好きなところにパネルを置いていきます。盤面が1マスでも空いていれば、すでに置いてあるパネルに重ねておくことができます。重ねなくてもかまいません。例えば、下右図の「OK」と書いてある場所には置くことができます。



※パネル中央の穴が四角か丸かでパネルを分けます。

- ③ 25マスすべて埋まったら終了。多くマスをとった方が勝ちです。例えば、右図のようになったら、14対11で白の勝ちです。



★アイテムカードについて

アイテムカードをプレイ中に使用するとさまざまな効果が発動します。カードは全8種類で、プレイヤーはプレイ前に好きなカードを3枚選びます。どれを選んだかは相手に見せません。3枚のカードは、どちらかが先に2勝するまでの間、好きなタイミングで出すことができます。アイテムカードの使用により一発逆転も可能となるため、手持ちのカードをどのタイミングで出すか、頭脳戦が求められます。



←カード例:「チェンジ」
相手の手持ちパネル1枚を、
自分の手持ちパネル1枚
と交換することができる。



←カード例:「スピン」
上に重ねられていないパネル1枚を、好きな向きに90°もしくは180°回転させることができる。